

# 目 次

はじめに

<b>01</b>	スポーツの世界に法は存在するか？	1
1	スポーツとは何か	1
2	法とは何か	3
3	スポーツ基本法	10
4	スポーツ権	12
5	スポーツ行政	14
<b>02</b>	スポーツ(界)はどのような人権を守ることが必要か？	19
1	憲法による人権保護とスポーツ(界)の課題	19
2	第二次世界大戦後の国際人権保障とスポーツ	23
3	第二次世界大戦後の憲法による人権保障とスポーツ	26
4	スポーツにおける平等と公正とジェンダー	30
<b>03</b>	高校野球に女子生徒は参加すべきか？	36
1	女子選手は男子競技・種目で競えないのか：高校野球を例に	36
2	女子選手は女子競技・種目で競技できないのか	41
3	男女どちらの競技・種目で競うのか	44
4	性別に競うべきか：まとめと今後の課題	49
<b>04</b>	スポーツ賭博は禁止されるべきか？	54
1	最近の出来事	54
2	日本社会と賭博規制	55
3	日本で合法とされている賭博行為	56

4	スポーツと八百長	61
5	スポーツ賭博をどう考えるか	66
<b>05</b>	<b>なぜケガをさせても訴えられる可能性が低いのか？</b>	<b>71</b>
1	民事上の責任	71
2	刑事上の責任	82
<b>06</b>	<b>スポーツの商業主義は問題か？</b>	<b>86</b>
1	スポーツにおける契約とビジネス	86
2	契約と代理制度	88
3	スポーツにおける代理人	90
4	選手の地位（選手契約）	94
5	選手を取り巻くビジネス	95
6	スポーツを取り巻くビジネス	98
<b>07</b>	<b>オリンピックは必要とされているか？</b>	<b>101</b>
1	オリンピック・ムーブメントとIOC	101
2	オリンピック憲章の「憲法的性格」	105
3	オリンピック憲章「根本原則」にみる人権保障	106
4	オリンピック・ムーブメントと人権保障にかかわる最近の動向	110
5	オリンピックはどのように活かされるべきか	112
<b>08</b>	<b>スポーツにおける連帯責任は問題か？</b>	<b>114</b>
1	スポーツ団体の法的性格	114
2	懲罰規程	119
3	連帯責任	122
4	スポーツ団体のガバナンス	129

<b>09</b>	スポーツ紛争はどのように解決されているか？	134
1	スポーツ紛争とは	134
2	スポーツ紛争に適用される規範	136
3	スポーツ紛争の解決	138
4	スポーツ仲裁	140
<b>10</b>	スポーツを支援する環境はどのようになっているか？	149
1	国が支えるスポーツ環境	149
2	地域が支えるスポーツ環境	155
3	学校体育と運動部活動	159
<b>11</b>	プロスポーツ選手は労働者か？	166
1	スポーツ選手って労働者!?	166
2	労働法ってどんな法律!?	167
3	個別的労働法とスポーツ選手	169
4	集団的労働法とスポーツ選手	173
5	スポーツ競技団体の意思決定	178
<b>12</b>	スポーツイベントは「持続可能」か？	180
1	スポーツと環境とのかかわり	180
2	オリンピック・ムーブメントと環境問題	184
3	スポーツと環境：国内事例	188
4	社会・人権問題とスポーツイベントのサステナビリティ	190
5	スポーツ界の持続可能な発展のために	196
<b>13</b>	スポーツ映像は誰のものか？	198
1	メディアとスポーツの放送権	198
2	誰がスポーツの放送権を有しているのか	203
3	スポーツ映像と著作権および著作隣接権	206

4	ユニバーサルアクセス権 .....	209
<b>14</b>	<b>ドーピングは禁止されるべきか？</b> .....	<b>214</b>
1	ドーピングとは .....	214
2	WADCおよび国際基準と国内規程 .....	220
3	アンチ・ドーピング規則違反(ADRV)の10の類型 .....	223
4	ドーピング検査手続・分析機関による分析 .....	224
5	アンチ・ドーピング規則違反事例の処理 .....	225
<b>15</b>	<b>健康ブームは健康をもたらすか？</b> .....	<b>229</b>
1	私たちの生活と健康 .....	229
2	健康増進の取り組み .....	234
3	日常生活における健康づくり .....	238

判例索引

事項索引

執筆者紹介